

民主党と自民党 ～政権交代は必要だったのか～

法学部1年 金元良太

目次

- 0、はじめに
- 1、政権交代の意義とは
- 2、民主党は政権交代をするべきだったのか
- 3、なぜ政権交代が起きたのか
- 4、おわりに

0、はじめに

2009年に自民党から民主党へと政権交代が起き現在も民主党が政権を握っているのはご周知の通りであります。日本政治史における歴史的イベントとして否応なく期待が高まった民主党政権ですが鳩山内閣に始まり今の野田内閣までにおいてその期待に答えられているのかというところはどうなのでしょう？現在においても原発・円高・TPP参加に対する反対運動・ギリシャ危機など簡単に挙げられるだけでもこれほどありますが効果のある対策をとれているのでしょうか。そしてこれらを見て疑問が湧きました。そもそも民主党への政権交代は必要だったのか？ここではそれについて述べていきたいと思う。

1、政権交代の意義とは

まずなぜ政権交代が必要といわれるのか。重要な点としては政治権力の暴走阻止と国民が必要とする政策の選択をさせるためなどが挙げられます。ですがそれ以上に議会制民主主義において自民党による超長期政権は異常であると思われていたからです。ドイツの雑誌「morgen rot」は2009年の政権交代に対して「日本の普通化」というタイトルを掲げた評論を出した。これによると日本はこの政権交代によってようやく普通の議会制民主主義になったと書かれている。民主党への政権交代は日本の政治に関心が薄い外国メディアが取り上げるほどの出来ごとであり、外国さえそれまでの日本の長期政権は異常と思っていたようです。また山口二郎氏のあるコラムによればこの政権交代は民意・選挙による政権交代と社会民主主義政党と穏健保守勢力の結集という日本政治史における二つの課題を一度に実現したと書いています。これらをみると政権交代というものの自体は望まれたものであり、必要なものであることは確かなようです。

2、民主党は政権交代をするべきだったのか

しかしながら遅かれ早かれ政権交代自体は必要とされたものであったとしても、2009年というタイミングに民主党は政権交代をするべきだったのでしょうか。自民党は小泉政権のあと阿部政権・福田政権・麻生政権と短期政権が立て続きに起きたことで国民の信頼を失くし、それをチャンスとした民主党が次々と国民の目を引くマニフェストを打ち出して政権交代を勝ち取りました。ですがその後を見ているとほとんどのマニフェストが実現されず、実行された「こども手当」も紆余曲折し社会の困惑を招いただけ。また国会運営も自民党とおなじようなものという議会政治に何の変化もみられない。せつかくの政権交代も準備不足と戦略性のなさのせいで台無しであるどころか政治の方向性を見失い、場当たり的な政策しか出来ないために政治の停滞を起こしているように思える。民主党は自らの理念・意志をもっとはっきりと決めるべきだった。曖昧な理念のせいで国民の支持を政策に関する負託に変換できていない。いずれ政権交代を起こすべきだとしても民主党はまだ政権交代をするべきではなかった。

3、なぜ政権交代が起きたのか

では政権交代された側である自民党政権は実際どうだったのでしょうか。確かに自民党は国民の信頼を失ったことで政権交代を許した。ただ小泉政権以降の自民党政権の政策を調べていくと小泉政権を除くと大きな政策の失敗と呼べるものがあまりない。これは短期政権ゆえに大きな政策が出来なかったのがあるが、短期政権になってしまうほどの失策をしたのだろうか。麻生総理を見てみると数多くの功績と呼べる活躍をしており、その中でもG7行動計画を支持し、IMFに1000億ドル供出するという私から見ても妙手と言える重要な政治的功績も残している。しかしこれほどの功績を残しながらも麻生政権も1年という短命で終わってしまった。これにはマスメディアが強く影響している。特に麻生総理の時は彼自身の政策である広告税の導入を進めていたこともあり、マスメディアは俗に麻生潰しと揶揄されるような、ことさらに失敗ばかりを取り上げる報道を行った。これにより自民党への不信は高まり政権交代への下地ができてしまった。

4、おわりに

自民党は国民の支持を失くしていたが政治能力をなくしていたわけではない。長年与党として政策にかかわり続けたために大きな転換はみられないがその分党の理念がしっかりしている。先ほど述べた麻生首相の実績もマスメディアさえ押さえられればまだ政権は続いていたかもしれないと思うほどだ。特に麻生総理の外交手腕は民主党の管総理をみていると惜しく感じてくる。これらから私は政権交代こそ必要であるがまだ政権交代をせずに

自民党政権を続けるべきだったと私は結論する。しかし政権交代が起きたことを見るとやはり日本の国民はマスメディアに左右されてしまうのだろう。ジャーナリズムの健全化を目指す必要がある。

『参考文献』

- | | | | |
|------|--------------|--------------|-------|
| 石川真澄 | 「戦後政治史 新版」 | 岩波新書 | 2004年 |
| 山口次郎 | 「政権交代論」 | 岩波新書 | 2009年 |
| 上杉 隆 | 「政権交代の内幕」 | voice select | 2009年 |
| | 「ジャーナリズム崩壊」 | 幻冬舎 | 2008年 |
| 鈴木棟一 | 「小泉政権の50の功罪」 | ダイヤモンド社 | 2006年 |

『参考雑誌』

- | | | | |
|------|----------------------------------------|------|---------|
| 山口二郎 | 「現代の理論（政権交代をなぜ生かせなかったのか—民主党における失敗の考察）」 | 明石書店 | 2010年夏号 |
|------|----------------------------------------|------|---------|

『参考ウェブ』

- 民主党HP
- 自民党HP
- 麻生太郎の功績